

★ エピソード記録



梅雨に入り蒸し暑い日も続きますが、子ども達は蒸し暑さに関係なく元気に遊んでいます。お散歩に園庭遊びと、とにかく外で遊ぶことが大好きなぱんだ組。進級して3ヶ月経ちますが、より友達同士の関りも大きくなり、日々の成長が感じられます。



田植え見学 きりん組の田植え体験を見学しました。田んぼの感触に戸惑っているきりん組の様子を見て、「僕も入りたい!」「見学だけじゃつまらない!」と田植えに興味をもって見ていました。今から来年の田植えを楽しみにしているぱんだ組です。

芋の苗植え バスに乗って芋の苗を植えに行きました。1人2本の苗をもらい、土を掘って植えていきます。見た目より難しい作業で、子ども達はとても苦戦していましたが、服や長くつが土でドロドロになるほど一生懸命植えていました。食いしん坊なぱんだ組は今から収穫の日をとても楽しみにしています。

おたまじゃくしのかんさつきろく

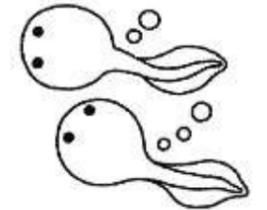
- 5月19日 田んぼにおたまじゃくしを取りに行きました。全部で9匹取れました。
- 6月1日 体の色がどんどん白くなってきました。
- 6月5日 足が生えてきました。
- 6月10日 手が生えてきました。
- 6月16日 しっぽが短くなってきました。
- 6月17日 カエルになりました。
- 6月19日 みんなで逃がしにいきました。



子ども達は、おたまじゃくしとカエルは見た目も違うので、別の生き物だと思っていたのが、毎日観察することによって成長の過程を知ることが出来ました。また、命の大切さを少しでも分かってくれたと思います。

おたまじゃくしに手足が生え、カエルの姿になってきました。次の日の朝、飼育しているバケツの中を覗くと、、、なんと9匹いたおたまじゃくしが2匹しかいなくなっていました。そのことをみんなに伝えた時の一コマ。

- みんな 「おたまじゃくしどこに行ったのかなあ?」
- A君 「たぶん手も足も生えたから海に逃げたんちゃう?」
- Bちゃん 「ロッカーの上からジャンプしたのかなあ?」
- みんな 「やっぱりお家に帰ったんやな!」

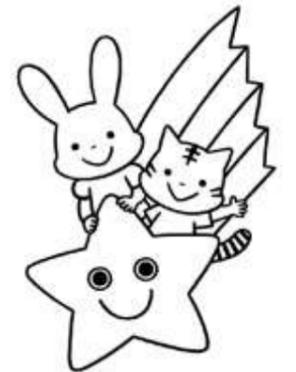


おたまじゃくしの変化を毎日観察していたぱんだ組。手と足が生え、カエルらしい姿になったことをよく観察していたので、園から見える海に逃げたと表現した A君でした。水辺にいる生き物だということをしっかりと理解していたからこそ出てくる表現だと思います。

子どもにとってカエルとおたまじゃくしと言うのは見た目が違うので、全く別の生き物だという認識がありますが、実際に飼育して変化を観察することで線が繋がったかのように理解が出来たと思います。これからもたくさんの生き物に触れ合う機会を設けていきます。

7月の予定

- 7日(火) 七夕
- 8日(水) プール開き お昼寝が始まりますので、バスタオルを持って来て下さい。
- 13日(月) 体操教室 体操服を持って来て下さい。
- 20日(月) 身体測定
- 31日(金) お誕生会



おろかゐ

7月8日(水)からプールが始まります。

全ての持ち物に記名をお願いします。

持ち物は、水着・体を拭くタオル・スーパーの袋(名前記入)です。

プールカードに記入のない場合は入れませんので

よろしくをお願いします。